

- 第 64 回全国保育研究大会 宣言 -

すべての子どもの権利と育ちを
保障していく社会の実現をめざして

令和 3 年 11 月 17 日 全国保育協議会

新型コロナウイルス感染症は依然として猛威をふるい、保育現場に多大な影響をもたらしています。この難局において、私たち保育関係者は、子どもの育ち、子育て家庭の生活、社会を支えるため、保育を継続してきました。

私たちは、コロナ禍であっても、教育・保育の質の向上と量の拡充を両輪として、すべての子どもにとっての最善の利益を保障するとともに、すべての地域において、子どもの発達に適した成育の場を確保し、健やかな発達の保障の実現をめざしています。

こうしたなか、本会では、「すべての子どもの権利と育ちを保障していく社会の実現」をめざし、会員の保育所・認定こども園等における保育・子育ての支援の充実をはかるべく、「全保協 将来ビジョン」を改訂しました。

わが国の乳幼児期の教育・保育を担う事業者として、そのあり方を自らに問い続け、地域・社会からの信頼を一層高められるよう、第64回全国保育研究大会・三重大会の開催にあたり、次のとおり宣言します。

- 一、 私たちは、子どもの虐待や貧困などの課題の解決につながるよう、社会からの要請や地域の子ども・子育て支援ニーズに応え、保育の専門性を活かした地域の児童福祉施設としての機能を充実させ、ともに生きる豊かな地域社会の実現をめざします。
- 一、 私たち、保育所・認定こども園等の職員一人ひとりが社会の課題に向き合いながら、保育の質を高めていくために研鑽し、自身の質の向上に努めます。
- 一、 私たちは、自然災害などの被災地における子どもや、子育て家庭を含む地域のすべての方々への支援に継続して取り組むとともに、新型コロナウイルス感染症の感染対策を含め、平時より子どもたちの安全・安心を守ります。
- 一、 私たちは、就労を取り巻く課題に主体的に向き合い、魅力ある働きがいのある職場となるよう努めるとともに、社会に対して保育士・保育教諭等の魅力発信を行います。
- 一、 私たちは、人口減少地域をはじめとして、それぞれの地域における保育所・認定こども園等の役割や機能を果たすために経営の透明性の確保・向上を進め、公益性を発揮するとともに、子どもを取り巻く制度改革に対し、必要な提言を行い、これからのよりよい保育を実現します。

令和3年11月17日